

2020 Report

はくさん信用金庫

2020年9月期／経営情報誌

(令和2年4月1日～令和2年9月30日)



HAKUSAN
SHINKIN

経営情報の開示

ディスクロージャー

DISCLOSURE

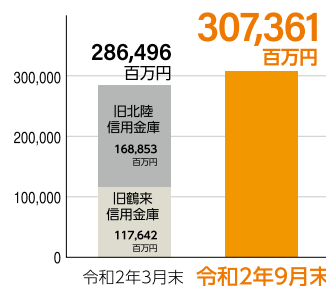
※本資料に掲載の計数は原則として単位未満を切り捨てています。なお、半期開示につき監査法人の監査は受けていません。
※預金・貸出金の推移の令和2年3月末の計数は、旧北陸信用金庫と旧鶴来信用金庫の残高を合算し、記載しております。

Q 預金の推移はどうですか？

A

令和2年9月末の預金残高は、地域のお客さまからの幅広いご支持を得て順調に推移し、令和2年3月末比7.28%増の3,073億61百万円となりました。

預金

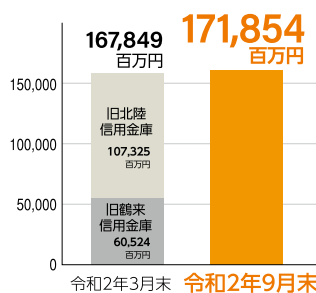


Q 貸出金の推移はどうですか？

A

令和2年9月末の貸出金残高は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているお客さまの資金繰り支援のほか、事業者の皆さまの課題解決にしっかりと取り組んだ結果、令和2年3月末比2.38%増の1,718億54百万円となりました。

貸出金



新型コロナウイルス感染症関連融資の実行状況

実行件数	757件
実行金額	10,439百万円

(令和2年9月末現在)

Q 収益の状況はどうですか？

A

令和2年9月末の収益は、本業の収益力を示すコア業務純益は1億1百万円、経常利益は89百万円、当期純利益は38百万円となりました。

単位：百万円

	令和2年9月末
業務純益	101
コア業務純益	101
経常利益	89
当期純利益	38

(仮決算速報ベース)

Q 有価証券の運用状況はどうですか？

A

有価証券の運用につきましては、安全性・収益性・流動性の確保を最優先に、分散投資に努めています。令和2年9月末の時価のある有価証券の状況は下表のとおりです。

有価証券の時価状況

●満期保有目的の債券

単位：百万円

区分	種類	令和2年9月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	—	—	—
	地方債	1,489	1,656	167
	社債	2,441	2,599	157
	その他	2,810	2,855	44
	小計	6,741	7,111	369
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	—	—	—
	地方債	—	—	—
	社債	100	99	△0
	その他	1,900	1,879	△20
	小計	2,000	1,978	△21
合計		8,742	9,090	347

注1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいています。

注2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。

注3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めていません。

●時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

単位：百万円

区分	令和2年9月末
その他有価証券非上場株式等	しんきん大阪システムサービス(株) 他14社 59

●その他有価証券

単位：百万円

区分	種類	令和2年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	15	14	1
	債券	12,233	12,047	185
	国債	500	499	1
	地方債	2,444	2,378	66
	社債	9,287	9,169	117
	その他	5,583	5,395	188
	小計	17,832	17,457	375
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	22	25	△3
	債券	7,074	7,178	△103
	国債	2,461	2,486	△24
	地方債	1,070	1,086	△16
	社債	3,542	3,604	△62
	その他	3,196	3,600	△403
	小計	10,293	10,803	△510
合計		28,126	28,260	△134

注1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいています。

注2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。

注3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めていません。

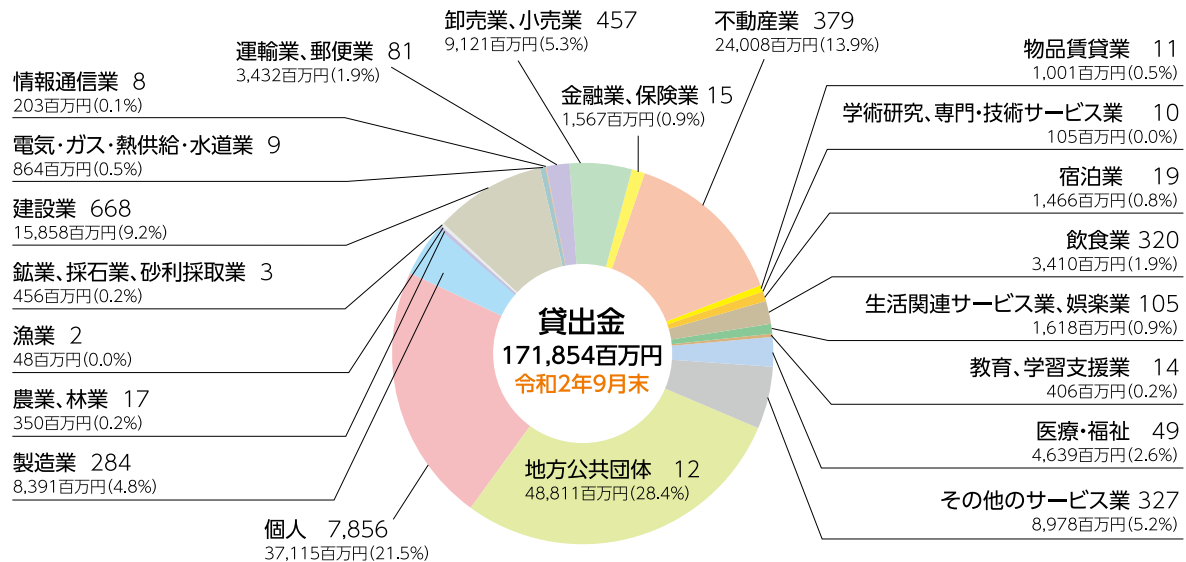
Q 業種別の貸出金の状況はどうか？



令和2年9月末の業種別貸出金の状況は下表のとおりです。これからも地域のお客さまのニーズにしっかりとお応えできるよう努めてまいります。

業種別貸出金残高状況

表の見方 業種別区分 貸出先数
期末残高/百万円 (構成比率/%)



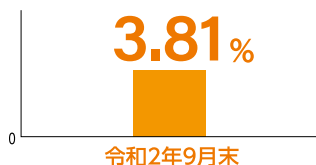
(注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しています。

Q 不良債権の状況はどうか？



金融再生法ベースの不良債権額は66億59百万円、不良債権比率は、3.81%となりました。当金庫では、資産の健全性を確保するため厳格な自己査定を実施し、適正な不良債権処理を行っています。

不良債権比率



金融再生法開示債権とその保全状況

単位：百万円

区 分	令和2年9月末
金融再生法上の不良債権 (A)	6,659
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,328
危険債権	2,347
要管理債権	983
正常債権	167,705
保全額 (B)	5,749
貸倒引当金 (C)	3,864
担保・保証等 (D)	1,885
保全率 (B)/(A)%	86.34%
担保・保証等控除後債権に対する引当率 (C)/(A-D)%	80.94%

○上記の貸倒引当金は個別貸倒引当金及び要管理債権に対して計上している一般貸倒引当金の合計額です。また、上記の令和2年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリにより分類しています。集計方法については下記(注)1、2のとおりです。

注1. 「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」及び「危険債権」の金額は、令和2年3月末時点における債務者区分を前提とし、同年3月末から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実ならびに債務者区分の引き下げ等があった債務者について、当庫の定める自己査定基準に基づき債務者区分の見直しをおこない、債務者区分の変更と認められる額を反映しています。

この場合、債務者区分が下方に変更になった場合を対象とし、債務者に対する債券額を新たに加算、または「危険債権」を減額し、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」を加算しています。

注2. 「要管理債権」の金額は、令和2年3月末時点における債務者区分を前提とし、同年3月末から9月末の間に「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」に変更になった金額を減額しています。

Q 安全性はどうか？



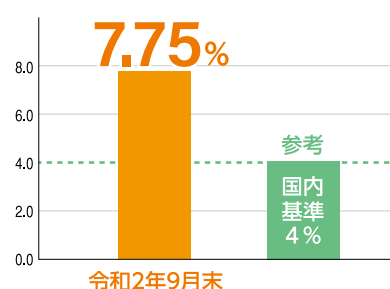
令和2年9月末の自己資本比率は7.75%となりました。信用金庫に適用される国内基準4.00%を大幅に上回っており、高い健全性を確保しています。

自己資本比率の算出方法

$$\frac{\text{自己資本額}}{\text{リスク・アセット等}} \times 100 = \text{自己資本比率 (7.75\%)}$$

自己資本額 81億27百万円
リスク・アセット等 1,048億15百万円

自己資本比率





合併認可の取得

令和2年8月27日(木)、北陸財務局長から合併認可書の交付を受けました。これにより、9月7日(月)から新金庫「はくさん信用金庫」として営業を始めることが決定しました。

はくさん信用金庫ロゴマーク

当金庫のロゴマークは、正式名称でもある「はくさん」をモチーフに、「上向きなスタート」を表現しました。お客さまひとり一人の夢のはじまりを応援し、地域とともに未来に向かって上昇していく、そんな想いが込められています。ロゴマークの背景の色は、希望を連想させるオレンジと黄色のグラデーションで白山の御来光をイメージしました。温かみがありエネルギー溢れる信用金庫になりたい、地域の未来を照らす存在になりたい、そんな願いを込めたコーポレートカラーです。なお、役職員徽章ではグラデーションの表現が難しく、オレンジを基調としています。実際のロゴマークは、本誌や当金庫の各店舗で、是非ご確認下さい。

合併記念式典で新金庫がスタート

令和2年9月7日(月)、合併日当日、8時過ぎのオープニングセレモニーを皮切りに「はくさん信用金庫」がスタート。合併記念式典では、多数の来賓からの祝辞をいただき、その後、テープカットで新金庫の営業がスタートしました。



合併祝賀会を開催



令和2年10月6日(木)、ホテル日航金沢にて多数の来賓や取引先のお客さまなど約300名にご出席いただき、コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施したうえで、新金庫の発足を祝う合併祝賀会を盛大に開催させていただきました。お客さまから多数のお祝いや激励のお言葉をいただき、役職員一同、「新金庫としての合併効果を最大限にし、これまで以上に地域に貢献したい。」と改めて決意をする機会となりました。

「はくさん信用金庫の海岸林づくり」の活動報告

令和2年11月14日(土)、白山市小舞子公園にて役職員約130名が参加し海岸林づくりの活動を実施しました。この活動は、同公園内の土地4.5haの海岸林の再生を目指し、これまでに植樹した1,000本の抵抗性クロマツの枝打ちや周辺の草刈りを実施しました。はくさん信用金庫では、引き続き「いしかわ事業者版環境ISO」登録企業として、環境保全に向けた各地域貢献活動を通じて、省エネ・節電等地域環境保護活動(CO2削減等)に積極的に取り組んでいきます。



医療従事者支援のための寄付を実施

令和2年9月7日(月)からの記念感謝ウィークに実施した「医療従事者応援チャリティーバザー」の収益金や同時に実施したチャリティー募金、それに加えて当金庫の親睦団体と当金庫からの寄付をあわせ、石川県に対して300万円の寄付を行いました。

この寄付金は、石川県の新型コロナウイルス対策で医療従事者支援の為に活用していただくためのもので、当金庫の合併記念祝賀会に於いて、谷本石川県知事に対して石田理事長から寄付金の贈呈をさせていただきました。

